

平成29年度 事業報告

我が国の総人口は、65歳以上の高齢者人口の割合が増加し、少子化で若い労働者が減少していく中で、国においては、少子高齢化の流れに歯止めをかけ、誰もが生きがいを感じられる社会を目指す一億総活躍社会の実現が進められています。

その中で、高齢者の多様な就業機会の確保として、社会の活力を維持し、発展していくためには働く意欲のある高齢者の経験や能力、知識を活かし活躍し続ける社会環境が求められています。

こうした状況の中で、活力を持ち続ける社会であるためには、多くの高年齢者が元気で社会の中で活躍・貢献していくことが必要です。

シルバー人材センターは、地域の日常生活に密着した就業機会を提供することにより、高年齢者の生きがいの充実、社会参加の促進による地域社会の活性化に不可欠な存在となっております。

当シルバー人材センターにおいても、これらのニーズの担い手として、安定した事業運営を続けていくため、役員・会員・事務局職員が共通の危機感を共有し、基本理念である「自主・自立、共働・共助」を再認識しながら、地域社会に根差した臨時的かつ短期的または軽易な就業の場を提供するため、「安全及び適正就業の徹底」、「組織体制の強化」等を推進するとともに、効果的に事業運営を行い、魅力あるシルバー人材センターを創出し、活力ある地域社会を支える中核的組織となるよう努めてまいりました。

以下、平成29年度の事業実施状況と事業実績について、次のとおり報告します。

I 事業実施状況

(1) 就業機会の拡大と提供

会員及び入会申込者の就業機会を確保するため、就業機会創出員を4名配置し、事業所を訪問することにより会員就業のお礼とともに新たな就業先の開拓に努め、平成29年度で18件の新規契約を確保しました。

また、適正就業に向けて、事業所に対し、適正就業ガイドラインの説明をすることにより、シルバー派遣業務の開拓にも努めました。

(2) 会員の増強

シルバー人材センター事業の発展は、会員の増強と就業機会の拡大にあります。

また、平成29年度は旭ヶ丘、鼓ヶ浦、白子、愛宕の各公民館をお借りして、地域説明会を開催するとともに、毎月1回、定期的にシルバーのしく

みを説明する入会説明会を開催するとともに、新しい就業分野の開拓に努め、センター事業を通しての「健康づくり」、「生きがいくくり」を推進し、入会者の増加を図りました。

(3) 福祉・家事援助サービスの推進

福祉・家事援助サービス事業の需要が年々増加しています。こうした現状を踏まえ、さらなる受注の増大に備え質の高いサービスの提供のために、発注者や就業会員の多様なニーズの的確な把握に努めました。

また、新たな就業機会の確保・提供として、平成29年度から始まりました鈴鹿市の介護予防・生活支援サービス事業を実施しました。

(4) 普及啓発活動

センター事業の目的や事業内容を広く市民に周知するため、以下の普及啓発活動を行いました。

1. 会報「シルバーすずか」を年2回（8月、12月）発行するとともに機関誌(月刊シルバー人材センター)を関係機関などに配布しました。
2. 市広報「すずか」10月5日号に、シルバーの特集記事を掲載しました。
3. 新聞等報道機関にシルバーのさまざまな取組みを情報提供しました。
4. 「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」にショッピングセンター4か所で普及啓発用チラシの配布と市保健センターにおいて社会奉仕活動（除草ボランティア）を実施しました。
5. ホームページを活用したPR活動を行いました。
6. 就業を通じた普及活動として、ネーム入り帽子の着用や口コミによる市民や事業所への啓発を推進しました。

(5) 安全適正就業と健康管理

安全就業と健康管理のために、全会員を対象とした安全就業大会の開催や、安全委員会の開催、安全就業パトロールを実施し、助言・指導を行い、事故防止の徹底と安全意識の高揚を図りました。また、職群班で事故の状況等を情報共有いたしました。残念ながら、物損、人身事故とも昨年度と比べて増加という状況になりました。

さらに、適正就業を図るため、適正就業ガイドラインを全会員に配布するとともに、新たな会員を対象に行う就業説明会でも説明を行いました。

一方、安全就業大会では、会員にいつまでも健康に留意して就業してもらえよう、鈴鹿市健康福祉部健康づくり課の保健師、管理栄養士による「健康寿命について」の講習会を開催しました。

(6) 教育訓練の充実

就業に必要な知識を習得し、安全で適正な就業を行うため、接遇マナー研修、自動車運転技能研修、交通安全研修などの研修を実施しました。

(7) 技能講習会の開催

当センター主催の独自講習会と60歳以上でシルバーでの就業を希望する方に就業する機会を円滑に提供できるようにするため、就業に必要な知識及び技能を付与することを目的とした高齢者活躍人材育成事業技能講習を三重県シルバー人材センター連合会と共同で実施しました。

1. 独自講習会

剪定技能講習・パソコン講習・ライフサポートサービス講習（料理・健康体操）

2. 高齢者活躍人材育成事業技能講習会

刈払機取扱・介護補助・パソコン基礎・調理補助

(8) 中長期計画の推進と次期中期計画の策定

本年度から始まりました中期計画に基づいた計画基本目標である「会員数の増強と就業率の向上」、「就業機会の拡大」、「安全就業と適正就業の徹底」等の充実に努めました。

(9) 調査研究活動

各種機関・団体との情報交換や会議及び研修会・講習会等に会員・役職員を参加させ、知識の取得、資質の向上を図りました。

また、センターの運営の参考とするため、今年度は豊橋市シルバー人材センターを選定し、視察研修を実施するとともに、求人開拓と企業情報の把握のために、創出員が研修会に参加し、新しい就業分野の開拓に努めました。

(10) 組織体制の強化

シルバー人材センターの自主運営体制を推進するため、会員組織の充実・機能強化を図りました。特に、職群班はセンターの理念である「自主・自立、共働・共助」を支える最も重要な組織として捉え、職群班の充実に努めました。

(11) 地域貢献の推進

「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」期間中に公共施設の除草清掃ボランティアを実施しました。

また、家事援助班による福祉施設の除草ボランティア活動を実施しました。